

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 2022年 2月 9日

事業所名：つぐみ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	安全に配慮したスペースを確保している。	はい…100%	現状を維持していきます。
	2 職員の適切な配置	配置できている。	はい…92% どちらともいえない…8%	現状を維持して行きます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	全てのスペースをバリアフリーにしており、児童が安全に過ごせるように努めています。	はい…83% どちらともいえない…17%	現状を維持していきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	通所時には手洗い・うがい・消毒を必ず行うように促しています。	はい…100%	現状を維持していきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日ミーティングをし、反省点改善点を見つけ改善できるよう努めています。		現状を維持していきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	未実施		今後の課題として検討していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保			職員のスキルアップを図るため、研修を行っていきます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者、本人のニーズに基づき支援計画を作成しています。		
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	一人一人の状況に合わせて作成しています。	はい…92% わからない…8%	満足して頂けるよう取り組んで行きます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	実施している療育内容を記録しています。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	一人一人に沿った支援を実施しています。	はい…100%	支援計画に沿った適切な支援を行っていきます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	職員会議を行い担当者中心にプログラムを立案しています。		現状を維持した上で、支援向上に努めます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日、長期休暇とのプログラムの異なる療育を行っています。長期に関しては普段出来ないことに取り組み、多様な療育を行っています	はい…100%	保護者への周知を図るよう努めます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	個別・集団と細やかなプログラムを実施しています。		支援向上に努めます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	職員会議を行い、日々の申し合わせを実施しています。		現状維持に努めます。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	報告反省を日々実施しています。		現状維持に努めます。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	当日の細やかな支援記録と職員の周知を行っています。		より向上できるよう努めます。
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	相談やコミュニケーションの中から児童の変化や中間評価などで計画の見直しを行っています。		モニタリングなどを細やかに行っていきます。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	実施しています。		現状維持に努めます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	対象者なし		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	対象者なし		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	相談事業所、学校、子育て支援課などと連携をとっています。		今後も情報共有できるよう努めます。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	対象者無し		今後対応できるよう取り組んでいきます
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	今後研修に参加し向上できるよう努めます。		研修に参加しスキルアップ出来るよう努めます。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	以前はイベントで地域の子供達との関わりを持っていましたが、コロナ禍の今は出来ていません。	はい…25% どちらともいえない…25% いいえ…8% わからない…42%	今後状況に応じて対応していきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	以前は地域の子供達への開放をしていましたが、コロナ禍の今は出来ていません。	はい…25% どちらともいえない…25% いいえ…8% わからない…42%	今後状況に応じて対応していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	日々の連絡票への記入、毎月支援日誌の提示、領収書などをお渡しし、分かりやすく伝えています。	はい…83% どちらともいえない…17%	今後も細やかな説明をしていきます。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	個別相談や随時対応を行っています。	はい…83% どちらともいえない…17%	丁寧に説明し理解して頂けるよう努めます。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	今後行っていきます。	はい…50% どちらともいえない…33% いいえ…17%	保護者への周知を図れるよう努めます。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	細やかな情報共有を行っています。	はい…75% どちらともいえない…25%	継続していきます。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	問題提示によっては家庭訪問を行っています。	はい…84% どちらともいえない…8% いいえ…8%	継続していきます。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	実施していません。	はい…17% どちらともいえない…25% いいえ…41% わからない…17%	保護者への周知、理解を計れるよう努めます。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	今まで、苦情を受けることはなかったため、お知らせする内容はありません。	はい…67% わからない…33%	現状を維持していきます。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	支援記録や日誌を持って理解出来るようにしています。	はい…92% どちらともいえない…8%	保護者への周知が深まるよう努めます。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	月に1回おたよりを発行しています。	はい…100%	現状維持していきます。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	鍵付きロッカーにて保存しています。	はい…100%	現状維持していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	周知できるように作成いたします。	はい…50% どちらともいえない…17% いいえ…8% わからない…25%	保護者への周知を図れるよう努めます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年2回実施していきます。	はい…34% どちらともいえない…8% いいえ…8% わからない…50%	今後実施していきます。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	研修に参加し、社内での研修を行います。		継続していきます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束のケースはありません。		現状維持していきます。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	事前に把握して配慮しています。		現状維持していきます。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	支援会議などを行い職員全員で把握しています。		現状を維持していきます。